

Mi iMoができるまで

2021/11/16

三宅町長 森田 浩司

三宅町の概要について

- ✓ 三宅町（みやけちょう）は奈良県磯城郡の町
- ✓ 東西約3.4km、南北約2.0km、面積4.07km²で、奈良県内で最も小さく、**全国でも 2番目に小さな町**
- ✓ 奈良盆地のほぼ中央に位置し、大阪・京都へのアクセスも便利な「**ちょうどいい田舎町**」
- ✓ 平成27年3月に**京奈和自動車道三宅I.C**が開通し、交通アクセスが飛躍的に向上
- ✓ 人口は6,722人（令和3年7月1日現在）で、現在**過疎地域**に指定
- ✓ 地場産業でもある**野球グローブ生産の町**で、令和3年度は三宅町でグローブづくりが始まって100年という記念すべき年



- ✓ 学童施設の耐震不足
→一時的に小学校の空き教室を間借り
- ✓ 議会などで新たな施設についての議論がなされていた。
- ✓ 町長選の争点の1つに。
→平成28年7月就任。ゼロベースで見直し。
- ✓ 同時に町の施設の老朽化問題
(バリアフリーに対応していない 等)
- ✓ 複数の問題を同時に解決できる方法
→施設の複合化。複合施設プロジェクトへ。



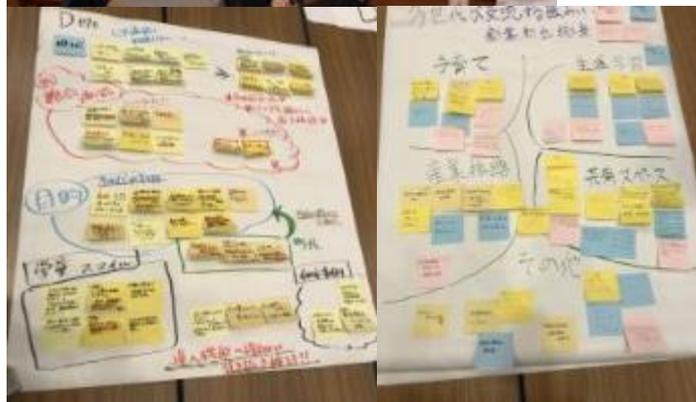
複合施設プロジェクトの進め方

今までは行政だけ



住民と一緒に創っていききたい

基本構想 【テーマ】どんな機能があったらいい？



✓ 子育て支援機能

✓ 生涯学習機能

✓ 産業振興機能

✓ 共有スペース機能

基本計画 【テーマ】 どんな施設にするか



✓ 住民プロジェクトチーム

運営について話し合う（将来像、運営体制など）



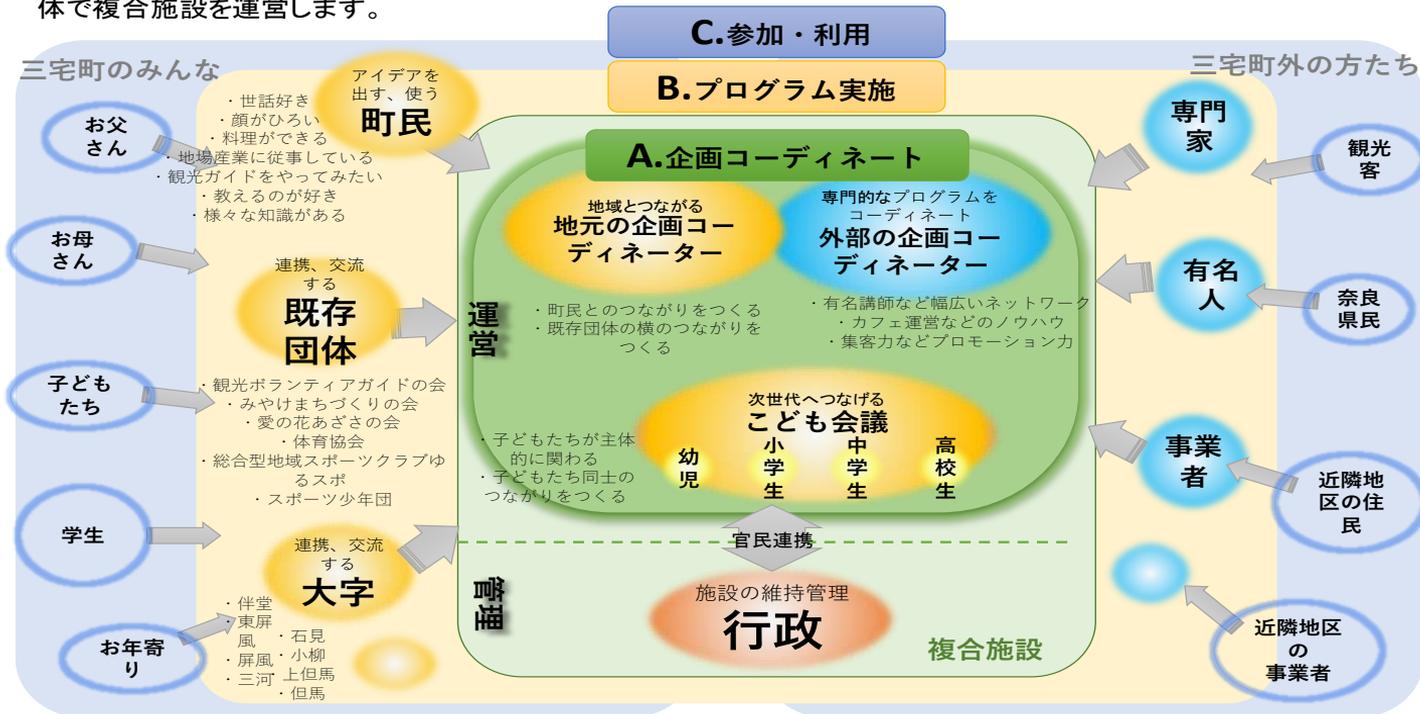
✓ 庁内ワーキング部会

部屋の規模・配置について話し合う

運営体制イメージ

5. 運営体制イメージ

地元と外部からのコーディネーター、子ども会議からなる企画コーディネート部門が複合施設の企画運営を担い、プログラム実施を担う町民や既存団体、事業者などを巻き込みながら、運営の輪を町内外に広げていき、まち全体で複合施設を運営します。



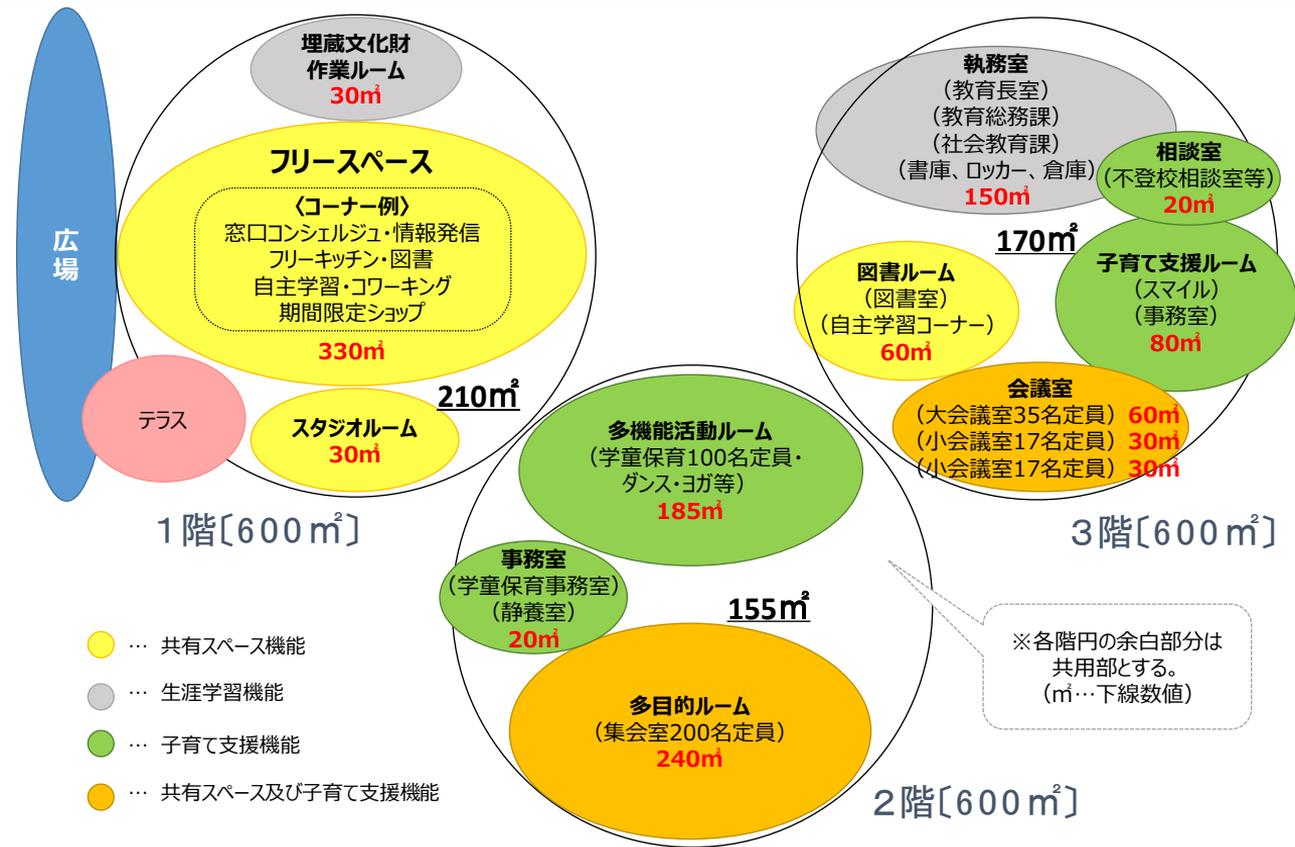
将来像

多世代が繋がり地域の魅力が創出
される町民ひとりひとりの"居場所"

設計の方針

- ✓ 使い方によって自由に変形できる空間
- ✓ 町民が笑顔で交流できるふれあいの場
- ✓ 子どもから大人まで共に学べる生涯学習の場
- ✓ 地域で子どもを育てる子育て支援の場
- ✓ 地域の魅力を創出するデザイン

想定プラン案



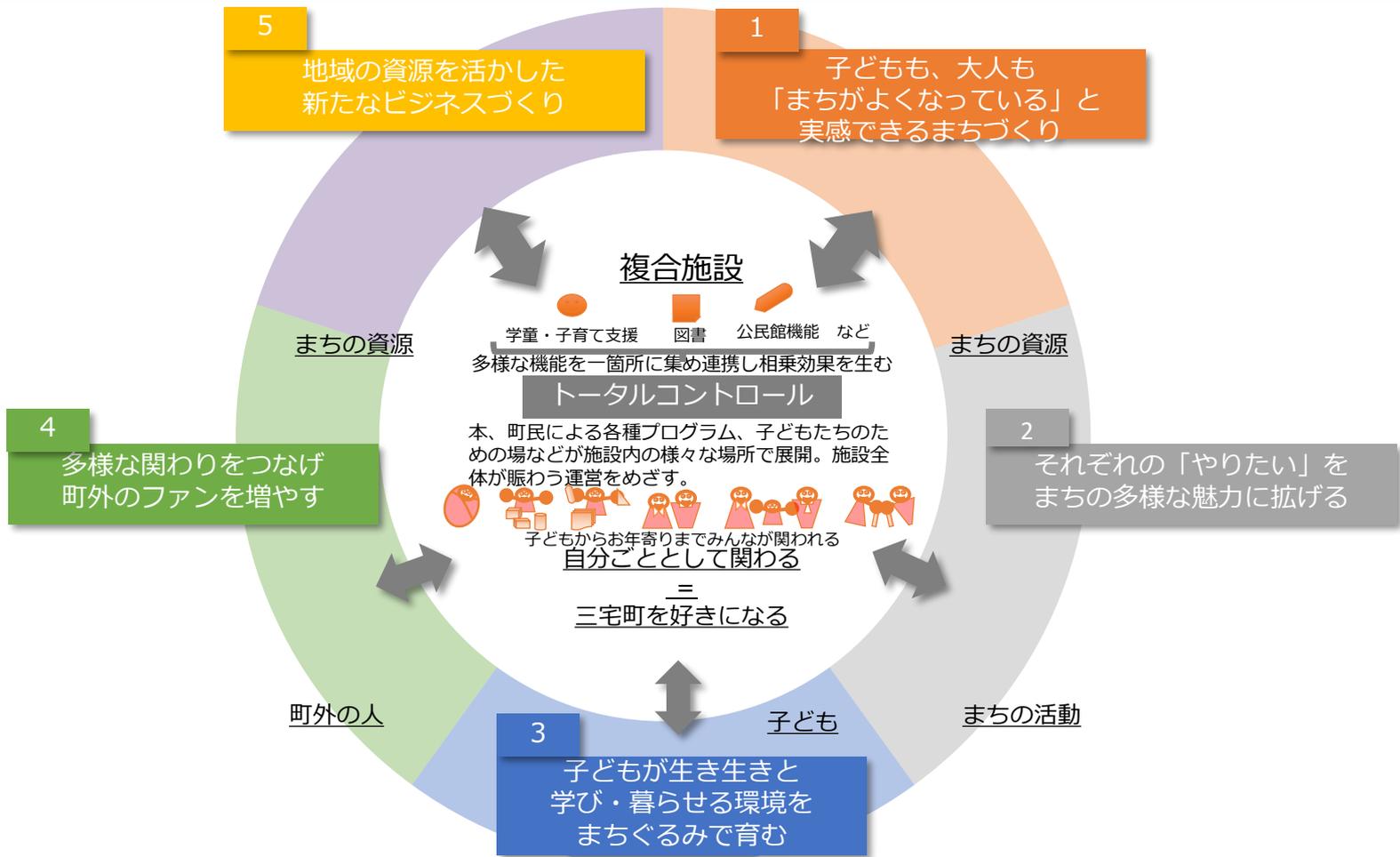
- … 共有スペース機能
- … 生涯学習機能
- … 子育て支援機能
- … 共有スペース及び子育て支援機能

みんなの思いが入った施設に！



運営方針 【テーマ】運営のグランドコンセプト

子どもも大人も自分ごととして関わり、
まちのみんなができること・やりたいこと
を積み重ねながら、三宅町の未来を育むま
ちの拠点として運営。



5

地域の資源を活かした
新たなビジネスづくり

1

子どもも、大人も
「まちがよくなっている」と
実感できるまちづくり

複合施設

児童・子育て支援 図書 公民館機能 など

多様な機能を一箇所に集め連携し相乗効果を生む

トータルコントロール

本、町民による各種プログラム、子どもたちのための場などが施設内の様々な場所で展開。施設全体が賑わう運営をめざす。

子どもからお年寄りまでみんなが関われる

自分ごととして関わる

三宅町を好きになる

まちの資源

まちの資源

4

多様な関わりをつなげ
町外のファンを増やす

2

それぞれの「やりたい」を
まちの多様な魅力に広げる

町外の人

子ども

まちの活動

3

子どもが生き生きと
学び・暮らせる環境を
まちぐるみで育む

愛称募集・ロゴの完成

一般向けに幅広く公募 → 応募総数294案の中から

MiiMoに込めた思い



子育て世代の母親（MaMa）と地域の方（Me）が集まる場所になるという願いが込められています。また、MiiMoの**M**は親を、**i**は子どもを連想させる形をイメージしています。

Mi iMo食堂

- ✓ 営業が可能な登録制のシェアキッチン
- ✓ 三宅町の食文化育成や食の楽しみをつくる場として運営者を募った
- ✓ 新たな賑わいや食のビジネス創出に寄与



地域コーディネーター会議

- ✓ 「地域コーディネーター」とは？
- ✓ どんな人たちがいる？
- ✓ 運営計画の策定、先進地視察など
- ✓ 料金や部屋の使い方について話し合う。



完成（普段の様子）



VISION

三宅町が目指す将来像

自分らしくハッピーに
スモール（住もうる）タウン



自分らしく、
夢に挑戦し叶えられる町を目指します。

MISSION

三宅町役場が果たす使命

皆さんの夢を叶えるための「伴走者」であり
「共創者」として、共に成長し続けます。

共に悩み汗をかきながら
ゴールを目指します！



VALUE

ミッションとビジョンを実現するためにとるべき思考や行動の指針

三宅町役場は、次の3つを大切にします。



対話

共創の輪

得て不得手の違いを認め合い、
声を聴き対話しながら、
共に力を合わせ共創する環境
を生み出します。



挑戦

挑戦文化の醸成

対話によって見つけた「やりたい」
を行動に！夢で終わら
せず、誰もが自分らしく挑戦
し続けられる文化を醸成しま
す。

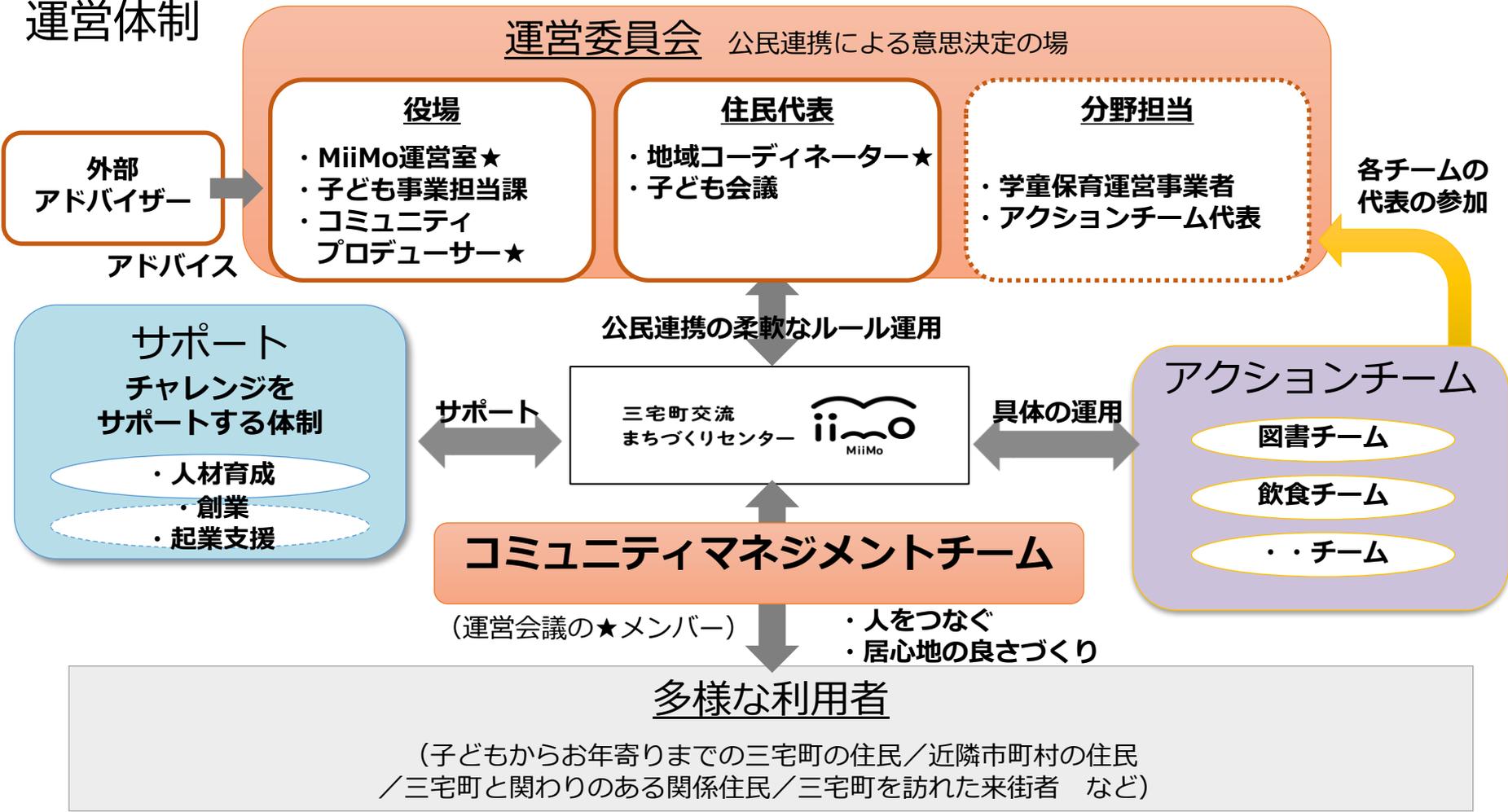


失敗

失敗は「経験」に

失敗のない挑戦は挑戦じゃない！
失敗は次の挑戦への種と
なる「経験」に変換。経験を
積み重ね、進化し続けます。

運営体制



コミュニティプロデューサー

期待すること

- ✓ コミュニティマネジメント
- ✓ 人と人、人と機会をつなげるハブ
- ✓ 交流まちづくりを経営的な視点からプロデュース



今年度より着任したコミュニティプロデューサー
(地域おこし協力隊)

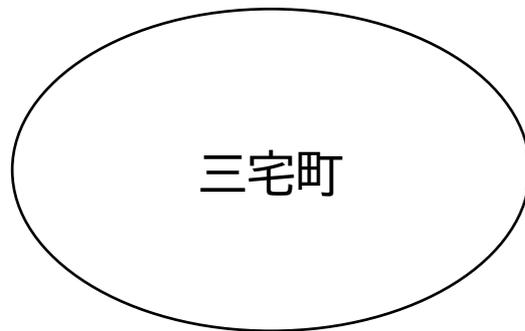
まちづくり会社

地域課題の多様化、人口減少、税収の減少・・・行政では解決が難しい

行政と連携して、今までにないサービスを提供できたら。



持続可能なビジネス
として、課題解決



稼ぐことが苦手

- ✓ M i i M o は V M V を 体 現 で き る 場
- ✓ と も に 育 ち、 育 て る ま ち づ く り
 - 住 民 と の 協 働
 - 民 間 事 業 者 と の 協 働
 - 大 学 と の 協 働



ご静聴ありがとうございました。